

1 中央監視業務特記仕様書

この仕様書は中央監視の概要を示すものであり、現場の状況に応じて、ここに記載されていない細部の事項及び、施設管理のため発注者から依頼された事項についても、誠意を持って対応するものとする。

1 業務場所

埼玉県立小児医療センターの建物及び構内
所在地：さいたま市中央区新都心 1 番地 2

2 業務の目的

埼玉県立小児医療センターの安全で快適な環境を確保し、かつセンター業務の円滑な運営を図ることを目的とする。このため、エネルギーセンターに 24 時間体制で常駐し、電気設備、空調設備、衛生設備及び建築物の運転、監視、点検、調整、整備、不具合対応、クレーム処理、小修繕、小工事等を行うこと。

3 設備の概要

別紙 1 のとおり

4 業務の内容

24 時間体制で次の業務を行う。

- (1) 各設備の運転、操作及び監視…………… 別紙 1 のとおり
- (2) 各設備の維持管理 …………… 別紙 2－1～2 のとおり
- (3) クレーム処理、小修繕、小工事
- (4) 各種測定 …………… 別紙 3 のとおり
- (5) 検針（電気、ガス、灯油、上水、中水、給湯）
- (6) 灯油、医療ガス、管球、雑材料等の受け入れ時の立会い
- (7) 保守点検委託業務の実施立会い及び協力
- (8) 圧力容器等清掃整備業務 …………… 別紙 4－1～2 のとおり
- (9) 建築設備定期点検業務…………… 別紙 5 のとおり
- (10) 受水槽等清掃業務…………… 別紙 6 のとおり
- (11) 自家用電気工作物保守点検業務…………… 別紙 7 のとおり
- (12) 自動制御設備保守管理業務…………… 別紙 8 のとおり
- (13) その他軽微な業務

5 業務基準

業務の実施に当たっては、関係法令等の定めを遵守すると共に、本センター業務の円滑な運営に支障を来すことのないよう、機器設備を熟知し、運営状況に対する影響箇所を調査して作業を計画すること。また、故障の早期発見、事故の未然防止等に努めることとする。自然災害等の非常・緊急時の対応、応急処置にあたっては、その処置に全力を挙げなければならない。

6. 業務の体制

業務員は、交替制により日曜祭日に関係なく、24時間体制で設備等の管理業務に必要な資格を有する業務員を適正に配置しなければならない。安全管理上、休憩中の者を含め、下記の表のとおり配置すること。業務員の人数が不足する場合は、事前に監督員の承認を受けるものとする。

時間区分		人数	業務内容
平日	8:30～17:15	6名以上	保守・運転監視業務
	17:15～翌 8:30	3名以上	運転監視業務、緊急時の保守を含む。
土曜	8:30～17:15	5名以上	〃
	17:15～翌 8:30	3名以上	〃
休日	8:30～翌 8:30	3名以上	〃

※休日：12月29日から翌年の1月3日までの日および日曜、祝日

7. 人員の確保及び有資格者

- (1) 受注者は、業務履行上必要な人員を配置しなければならない。
- (2) 配置すべき有資格者は次のとおりとする。
 - ア)電気工事士（第二種以上）または電気主任技術者（第三種以上）
 - イ)ボイラー技士（二級以上、作業主任者は一級以上）
 - ウ)冷凍機械責任者（第三種以上）
 - エ)第一種圧力容器取扱作業主任者公害防止主任者（大気、水質関係）
 - オ)危険物取扱者（第4類、乙種以上）
 - カ)消防設備点検資格者
 - キ)公害防止管理者（大気、水質関係）
 - ク)その他、発注者が必要とする有資格者

8. 業務員の資格

業務員は、少なくとも次のいずれかの資格を有しなければならない。また、複雑な設備に対応できる者で、原則として埼玉県立小児医療センターの専任とする。

- (1) 電気主任技術者で病院管理業務の実務経験が1年以上の者
- (2) 電気工事士で病院管理業務の実務経験が1年以上の者
- (3) ボイラー技士で実務経験が1年以上の者
- (4) 冷凍機械責任者で病院管理業務の実務経験が1年以上の者
- (5) 建築物環境衛生管理技術者で病院管理業務の実務経験が1年以上の者
- (6) 消防設備点検資格者で病院管理業務の実務経験が1年以上の者
- (7) 空気調和機運転管理の技能を有するもの
- (8) 給排水関係作業の技能を有するもの
- (9) 高圧ガス関係作業の技能を有するもの
- (10) 営繕保守技能を有するもの
- (11) 配管技能を有するもの
- (12) 溶接技能を有するもの
- (13) その他同等以上と発注者が認めた者

9. 感染防止対策の遵守

受注者は、発注者の定める感染防止対策を順守し、感染の拡大防止に努めるものとする。

- (1) 業務員について、次に掲げる検査およびワクチン接種を行い、その結果を発注者に報告するものとする。
 - ・流行性ウイルス疾患（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘）の抗体価検査およびワクチン接種

※抗体価の基準およびワクチン接種の有無の判断については、一般社団法人日本環境感染学会の定める「医療関係者のためのワクチンガイドライン第2版」によるものとする。

- ・結核感染検査
- ・百日咳ワクチン接種

(2) 前項の検査およびワクチンにかかる費用は、受注者の負担とする。

10. 業務員の管理

- (1) 受注者は、業務員を新たに採用し、業務に従事させる場合においては、1ヶ月の間、作業経験者と共に作業させなければならない。
- (2) 受注者は、業務員の交代及び担当変更があった場合には、監視員に報告するとともに、前任者との引継ぎを十分に行えるようにしなければならない。
- (3) 受注者は、業務員の健康管理や衛生管理に十分留意しなければならない。また、業務員が感染性の疾病に罹患している場合は休職させ、業務に支障が生じぬよう、速やかに欠員を補充しなければならない。

11. 各種提出書類

(作業計画予定表、作業実施報告書、各機器運転操作手順書、在庫管理表)

受注者は監督員と協議の上、月間の作業予定表を前月の25日までに提出し承諾を得るものとする。作業実施後は速やかに作業実施報告書を作成し、監督員に提出するものとする。また、各機器運転操作手順書、在庫管理表を作成整理すること。

12. 日誌等

受注者は発注者が定めた様式による日誌及び点検表を作成、記録後これを監督員に提出すること。

日誌(日報)……………翌開院日の午前中までに監督員に報告の上、提出すること。
点検日誌……………翌月の第一週までに監督員に提出すること。

13. 負担区分

- (1) 業務履行のため、受注者がセンター内で使用する必要最低限の電気、ガス、水道、当業務に関する電話の使用や院内スマホなどは発注者の負担とする。
- (2) 業務に必要な工具類、計測器類、印刷器具等の機材や、薬品類、用紙類、オイル、ヒューズ、パッキン等の消耗品、各測定・検査手数料等は受注者の負担とする。

14. 待機場所について

受注者が本件業務を履行するために必要な待機場所等は以下のとおりである。

- (1) 場所は、小児医療センター中央監視室等(図1)約150㎡。
- (2) 場所は、本件業務を履行するためにのみ使用するものとする。
- (3) 場所等を使用する場合は、発注者の指示に従うものとする。
- (4) 場所で利用する光熱費は、必要最小限についてのみ発注者が負担する。

15. その他

- (1) 受注者は、中央監視室・機械室・電気室等の清掃を行い、常に整理整頓に努めなければならない。
- (2) 新たに機器を設置した場合は、機器設置業者から取扱説明を受けること。その際、詳細に記録を取り、機器ごとに機器名称、内容、説明者及び記録作成者を記入した記録簿を作成し、監督員に提出すること。(第三者にも機器取扱いが判るように記録すること。)
- (3) センター設備の構造を熟慮し、効率化や省エネ等の技術的な提案をすること。

- (4) 受注者は、発注者の指示に従い設備機器・備品等の補修、移設、状態調査、塗装、軽作業等をその都度行う。塗料及び塗装用具は、発注者の負担とする。
- (5) 不具合発生内容について、記録を作成すること。また緊急的な不具合に限り、対応不能な時には関連業者に連絡するとともに不具合事項の状態を緊急連絡網により速やかに報告すること。
- (6) 病院内でそれぞれ定められた管理基準に従うこと。
- (7) 従事者は必要と思われる検診を定期的に受診すること。
- (8) 従事者に対し必要な研修を行い、センター内外の研修に積極的に参加すること。
- (9) 契約期間内、次の契約業者に業務内容全てを遅滞なく引継するものとする。

図1 小児医療センターB 1 F

